



# ~平成19年度まちづくりの方針~ “自立・協働・活力あるまち”をめざして

## 三つの重点課題達成に向けて

平成十九年度の予算が市議会に提案され、原案どおり可決、成立しました。

今年度の予算は、加東市行財政改革大綱に基づき、財政再建に向けての緊縮型となりました。歳出削減の一方で、福祉・子育て施策に重点を置き、市民に優しいまちづくりを展開。「自立・協働・活力」をテーマにさまざまな施策に取り組んでいきます。今後、更なる地域発展のために、次の三点を重要課題として、市民のみならずとも理想のふるさとづくりを進めます。

### 一 行財政改革の推進

このほど、最も重要な政策の柱として、行財政の運営指針となる「加東市行財政改革大綱」を策定しました。今後は、この大綱に基づいた「集中改革プラン」を目標に、実効性の高い取り組みを図りつつ、行財政改革の実質的なスタートの年とします。

市の財政状況が厳しい中、歳入面では国、県の施策による補助金や合併特例債を有効に活用します。歳出面では、集中改革プランに掲げた事務事業の再編、整理・縮小、適正な定員管理に

も取り組み、業務の民間活用も検討してまいります。

行政サービスについては、親切で素早く、的確を基本とした対応が大切であり、現在の分庁舎方式に対する市民の声は様々です。事務の効率化、財政面、行政サービス面などを踏まえ、議論を重ねていきます。

さらに、地方分権時代に対応できる地域づくりとして、市民が主体となり自立した活動をねらいとする、小学校区あるいは中学校区単位の住民自治組織の創設に向けて、支援施策の展開を図ります。

また、安心できる医療と福祉施策の一つである、公立社総合病院の経営改善については、院内プロジェクトの検討を進めています。今後は外部から検証できる有識者などによる検討プロジェクトを設置し、より良い方向性を定めていきます。

### 二 安全・安心のまちづくり

加東に住む子どもや大人たち、高齢者などが幸せに暮らせる社会の源は、誰もが健康であること、そして地域が手を携えて絆を大切に、安全で安心な地域社

会を築いていくことです。医療・福祉においては、疾病の早期発見・予防のための定期健診のほか、2年目を迎えた地域包括の介護支援事業では、高齢者や障害者へのさらなる支援や地域密着型サービスの充実に努めます。

さらに、高齢者福祉・障害者福祉の推進、子どもたちの健全育成や育児支援を行う児童福祉・子育て支援など、地域との連携をとりながら様々な施策の展開を図ります。

地域のコミュニティ・文化については、多くの人々の参加により輪が広がるイベントや文化事業を計画するとともに、伝統行事の保存に努め、それらの活動団体への支援を行います。そして、安全・安心のための環境づくりとして、快適な都市基盤の整備が不可欠です。良好な生活環境の促進や住みよい街地の整備、公共交通施策を推進するとともに、生活道路や幹線道路、ライフラインの整備・維持管理などを、地域バランスに配慮しながら計画的に進めます。また、防災事業や地域との連携した防犯体制の整備などにも一層努めます。

### 三 産業基盤の充実

まちの活気・にぎわいを創り

出すのは、産業の活性化による潤いと働く人々の生きる喜びです。そのために、産業資源をさらに輝かせ、パワーアップしていくことが重要です。

加東市は、市内の中央を走る中国自動車道、東西の玄関口である二つのインターチェンジを有し、一七五号と三七二号の国道が交差した交通の要衝でもあります。この条件を活かした工業団地（社サイエンスパーク、滝野工業団地、東条ニュータウン・インターパーク）への企業進出は、雇用の拡大に大きな役割を果たしています。今後は、活力がみなぎるまちをめざし、企業誘致を積極的に進めていきます。さらに、市内には東条湖、清水寺、鴨川の郷、播磨中央公園などの自然を活かした観光資源と地域の歴史や伝統を映し出す史跡などの文化資源があります。その魅力を引き出す地域の宝を、更なるまちのにぎわいに繋げるため、今後は、観光協会や地域の人々と連携しながら、イベントや催しを計画し、県内外に情報発信してまいります。

また、この地域でつくられる酒米は、全国的にも知名度が高く、地域農業を支えています。農業経営については、後継者不足による農家減少など、課題も山積みですが、後継者育成に結びつく魅力ある農業振興施策を展開し、その活動を支援します。

まちの活力に繋がる地域情報の発信については、加東市の大きな魅力の一つでもあるケーブルテレビ事業を拡大し、地域の資源の増幅と市民のさらなる一体感の創出に努めます。

### 新たな時代に 対応できるまち「加東」へ

これから三つの重要課題を念頭に置きながら、「住みよい、暮らしよい、パワフルな加東」の実現に向けて、

やすらぎ「安全・健康・福祉」の推進プラン

うるおい「生活・都市・環境」の推進プラン

ゆたかさ「産業基盤・地域活力」の推進プラン

はぐくみ「教育・文化・スポーツ」の推進プラン

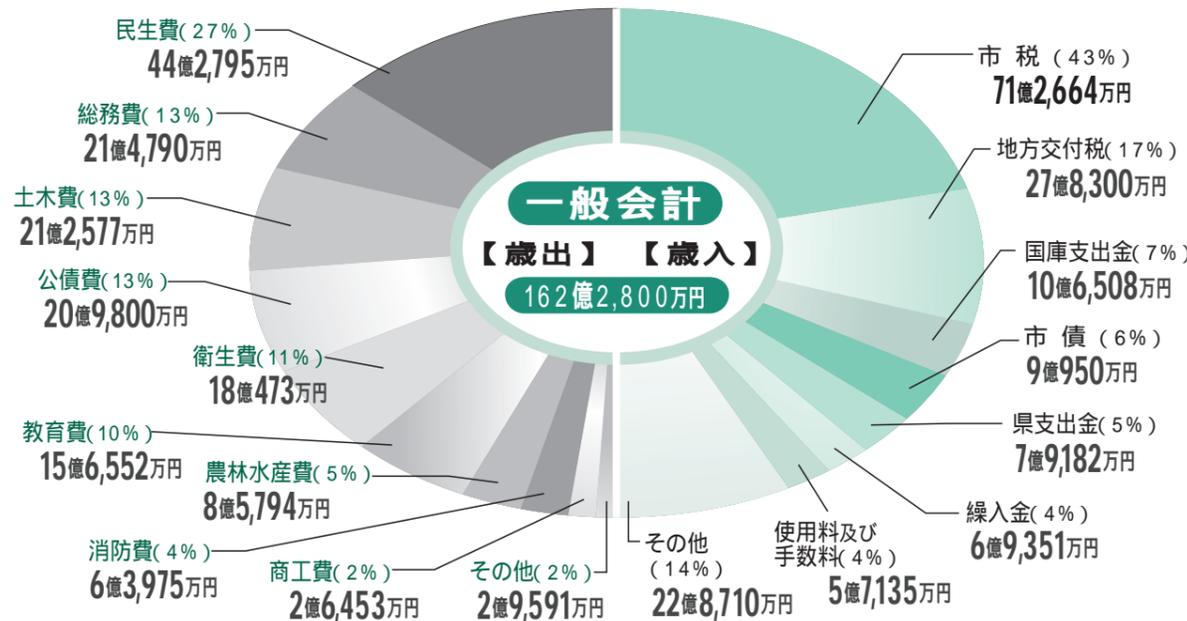
やさしさ「参画協働・人権・自治」の推進プラン

に沿って、魅力あふれる地域の宝と英知を結集しながら、豊かな文化や産業をさらにパワーアップし、新たな時代に対応できるまちづくりをめざします。

平成19年度加東市の予算が決定しました  
総額 338億3,993万円です。

会計別予算額		(単位:千円、%)		
区分	項目	平成19年度 予算 A	平成18年度 予算 B	対前年度比 A-B/B
一般	一般会計	16,228,000	16,255,000	0.17
特別	国民健康保険	3,808,000	3,411,000	11.64
	老人保健	3,692,900	3,592,700	2.79
	介護保険保険事業	2,342,700	2,184,600	7.24
	介護保険事業	508,300	528,700	3.86
	診療所	211,400	223,700	5.50
	下水道事業	1,862,800	1,865,200	0.13
	農業集落排水事業	367,000	376,200	2.45
	コミュニティプラント事業	261,400	262,600	0.46
	計	13,054,500	12,444,700	4.90
	企業	病院事業	2,890,624	2,887,435
水道事業		1,666,812	1,902,725	12.40
計		4,557,436	4,790,160	4.86
合計		33,839,936	33,489,860	1.05

## 【一般会計予算内訳】



市民一人当たりの  
予算額

【一般会計】

合計 402,810円

1月末現在の人口40,287人

民生費  
109,910円  
老人福祉や児童福祉などの充実にかかる費用

教育費  
38,859円  
学校教育、社会教育、文化、スポーツの振興にかかる費用

総務費  
53,315円  
運営管理などにかかる費用

農林水産業費  
21,296円  
農林水産業の活性化にかかる費用

土木費  
52,766円  
道路、公園、市営住宅などの維持管理にかかる費用

消防費  
15,880円  
消防事業や災害対策にかかる費用

公債費  
52,076円  
市が借りているお金の返済にかかる費用

商工費  
6,566円  
商工業、観光の活性化にかかる費用ほか

衛生費  
44,797円  
住民の健康管理やごみの収集、清掃などにかかる費用

その他  
7,345円